

# 令和7年度学校評価報告書

北海道函館盲学校

## 1 本年度の重点目標

一人一人を包み込み、学ぶ楽しさ・よろこびを実感する教育の推進

## 2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
保護者への根拠をもとにした説明と丁寧な対応	<p><b>【教職員】</b> 「私は、根拠をもとに個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成し、保護者へ丁寧に課題や目標、手立てなどを説明している」の達成率は、85%であった。教職員・寄宿舎職員の学校評価の達成率の平均値の93%と比較すると、比較的低い数値にとどまっていることから、関連する取組に改善が必要な項目となっている。</p>	<p><b>【保護者・施設等】</b> 「学校は、根拠をもとに個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成し、保護者へ丁寧に課題や目標、手立てなどを説明していると思う」の達成率は、100%で学校の取組について肯定的であった。</p> <p><b>【学校運営協議会】</b> 令和7年度第2回学校運営協議会において、学校評価集計表を確認した。 行事等では、どの子ども活動に参加できるように工夫されるなど、学校の目標に沿った教育活動がなされており、評価できるなど、委員の皆様からご意見をいただいた。</p>
改善方策	<p>○ 個別の教育支援計画、個別の指導計画の検討、評価を学部等で行うために、学部、全校、様々などで協議する時間を確保し、学校全体でその妥当性、適格性について検討、評価を行うことができる体制づくりの実現を目指し、改善する。また、指導の根拠となる年間指導計画等、教育課程について「一貫性」を視点として再考する。</p>	
働き方改革（時間の意識、業務の効率化）	<p><b>【教職員】</b> 「私は、時間や目的を明確にした効率的な会議や打ち合わせを行っている」の達成率は、89%であった。教職員・寄宿舎職員の学校評価の達成率の平均値の93%と比較すると、比較的低い数値にとどまっていることから、関連する取組に改善が必要な項目となっている。</p>	<p><b>【保護者・施設】</b> 「教職員は、生き生きと働いていると思う」の達成率は、100%で学校の取組について肯定的であった。</p> <p><b>【学校運営協議会】</b> 令和7年度第2回学校運営協議会において、学校評価集計表を確認した。 管理職と職員一人一人が、学校経営に関する意見交換を行うなど、教育活動の意義を確認できるよい取組であり、評価できるなど、委員の皆様からご意見をいただいた。</p>
改善方策	<p>○ 業務の再考と再分配、効率化を行うために、校務分掌や委員会の組織を再編したり、学校目標への達成に向けて視点を明確にした年間の業務計画を立てることができるよう項目を統一したりするなどの取り組みを行う。</p>	